

「学んで生かすべし」

研修レポート



群馬県町村議会議員研修編

議会運営委員会編

11/5

群馬県町村議会議員研修会 場所：玉村町文化センター 「住民に期待され信頼される議会議員になろう」

早稲田大学マニフェスト研究所事務局長・大正大学公共政策学部公共政策学科教授 **中村 健氏**



世の中の時代と共に変わりつつある町村議会の運営についての講演であり、住民の意識と要望に応じていく必要があるとのことでした。

また、行政のさまざまな業務は 今後AIにとって代われ、民意の集約や議論、企画、決定というプロセスは、益々複雑・繊細に求められるであろうと講演をされました。(小板橋 尚)



「町村の防災・減災対策と災害時の議会議員の役割」

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部・コミュニティデザイン学科教授 **鍵屋 一氏**

自治体の防災全般、災害時要援護者支援、避難所となる学校施設の防災対策、地震災害応急マニュアル、災害発生時の議会・議員の対応について講演されました。

大規模発生時における議員の役割

- ① 自らの安否、所在地の報告
- ② 参集指示があるまで地域援助活動に従事
- ③ 災害情報の収集及び本部から得た情報を区民に伝達
- ④ 連絡体制の確保
- ⑤ 災害対策本部への情報提供・活動支援、相互連携

議員は日頃から災害に対する知識の習得、いざというとき行動ができるよう、物心両面の準備が必要不可欠であり、また、議会は二元代表制で、行政は議会の承認を経て、執行が初めて業務を遂行できることの重要性を再認識しました。これからの時代の変化や生活環境のスタイル等にあわせ、より快適に環境を整えていくことが議会の改革にも繋がるものと感じました。(小板橋 尚)

11/15

北群馬郡町村議会 議員研修会

場所：榛東村南部コミュニティセンター

「本当の地方議会とは議会改革やめませんか」

一般社団法人地方公共団体政策支援機構 **長内 紳悟氏**



- ① AIを活用することで難しい計算をすることなく表現することができる
- ② 2045年は老年人口がピークになる
- ③ 人口推移をみて将来を考え、政策を訴える必要がある
- ④ 現在の議員は聞く力が備わっていないため、聞く力をつける必要がある

上記事項等をふまえ、今後の活動の参考にしたいと考えます。(吉澤 浩一)



12/16

茨城県大洗町議会 視察研修 場所：大洗町役場 「議会運営について 会議の映像配信」

大洗町議会では、平成20年より議員控室にて、ライブ配信を開始しています。その他にも、議会に関心を持ってもらうため、いろいろ努力したとのことでした。平成23年には、議会に417人が傍聴に来てくれたそうです。現在は年々人数も減り76の方が傍聴に来られているそうです。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年5月より令和3年11月までの定例会は傍聴の自粛をしたそうです。これにより、YouTubeでライブ配信をすることを決定し、定例会+常任委員会審査の映像をYouTubeと議会HPにてライブ配信を開始しました。榛東村議会でも映像配信ができるように、今後も調査研究を続けていきます。

(清水 健一)



総務産業建設常任委員会編

12/18

北宇都宮駐屯地視察研修 場所：航空学校宇都宮校 「陸上自衛隊北宇都宮駐屯地(第12旅団)と所在地域との関係について」

本委員会において北宇都宮駐屯地を訪問し、陸上自衛隊相馬原駐屯地(第12旅団)と北宇都宮駐屯地との関係について視察研修しました。北宇都宮駐屯地には航空学校宇都宮校があり、陸上自衛隊のヘリコプターパイロットを養成し、年間約40名を輩出、陸自パイロットの7割以上が宇都宮校出身と伺いました。ヘリコプターパイロットとして航空機の操縦に関する知識及び技能を修得させるための教育訓練や、大規模災害発生時の航空機派遣による人命救助等の訓練を見学しました。村にも第12旅団相馬原駐屯地があることから、自衛隊と共存・共栄していくために大変意義のある研修となりました。

(善養寺 孝)

